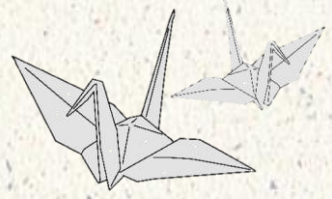


戦争体験・記憶の継承

～皆さんの戦争体験談を募集します～



被爆の記憶
当時アメリカ軍は焼夷弾を落としており、周囲が延焼してしまっただけで、私は長崎造船所に勤める父の社宅が開きました。
私は長崎市から7キロメートルくらい離れ爆しました。7歳と11か月でした。
被爆した時は、午前11時前後で、6畳間4歳年下の妹と朝食を待っていました。風ではなく、代用食であるサツマイモを母が持ってきた。
ふかし終わった頃に、突然ものすごく揺ら差込みました。その時、母が驚いてと大きな声で叫びました。母、兄妹、
の白い壁のところに隠れましたが、下
地球はダメ。 爆撃の記憶、戦争の記憶、
撃でした。 壁、爆撃の記憶、戦争の記憶、
て掛けていた。 爆撃の記憶、戦争の記憶、
が、全て衝撃。 爆撃の記憶、戦争の記憶、
ングと半ズボン。 爆撃の記憶、戦争の記憶、
の掛け声がなかった。 爆撃の記憶、戦争の記憶、
思います。 母の掛け。 爆撃の記憶、戦争の記憶、
私達4人は、それから。 爆撃の記憶、戦争の記憶、



戦争体験者が減少していく中、戦争の記憶を後世に引き継ぐため、次世代に伝えておきたいこと、今だから伝えられること、自身の体験や親族から伝えられた体験談（戦時中・戦後の生活、学童疎開、引き揚げの記憶など）を2000文字以内でご応募ください。

※集まった体験談等は市ホームページで公開するなど、平和啓発に使用します。
寄稿いただいた文章に関して連絡をさせていただくことがあります。
公開される際に匿名を希望する場合は、その旨お書きください。
※文字を書くのが難しい場合は、お問い合わせください。

応募方法：裏面の応募用紙に必要事項をご記入の上、体験談等を添付し、郵送または、Eメールでご応募ください。Eメールでの応募の際は、件名に「戦争体験・記憶の継承」と明記してください。

応募用紙ダウンロード：市民平和のつどいHP(右の二次元コードより→)

応募先：相模原市役所 国際課
住所：〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15
Eメール：kokusai@city.sagamihara.kanagawa.jp
問合せ先：042-707-1569（国際課）



主催：相模原市 企画：市民平和のつどい実行委員会

「戦争体験・記憶の継承」応募用紙

応募年月日 令和 年 月 日

ふりがな		生年月日				
氏名		年 月 日				
		年 齡				歳
住 所	〒 -					
電話番号	- -					
E-Mail						

題名 (タイトル)	
利用目的(同意いただける目的にチェックをお願いします。)	
<input type="checkbox"/> 市の平和啓発事業での使用	<input type="checkbox"/> 市のホームページへの掲載
公開可能情報(公開可能な情報にチェックをお願いします。)	
<input type="checkbox"/> 氏名	<input type="checkbox"/> 応募時の年齢
その他、個別の条件等があればご記入ください。	

【注意点】

- 1 文字数については、タイトルを含まずに、2,000字以内です。
- 2 著作権は相模原市に帰属するものとします。また体験談等は返却しませんので、ご了承ください。
- 3 体験談等について、掲載ができない場合があります。
- 4 一部のみの引用や表現の修正をすることがあります。